

日本基督教団高田教会積雪被害について

2021年1月19日の夜中に発生した高田教会の雪の被害に関して、被害の状況をフェイスブックの成田牧師の文章より紹介します。

「1時10分頃に屋根雪が、雪の重みに耐え切れず雪止めを外して落ち、落雪が教会牧師館を直撃し、窓と壁をぶち抜く事態が発生しました。人的被害はありません。落雪が牧師館に当たった時、2階居室の引き戸が衝撃で外れました。想定外の被害に仰天しています。なお、光通信・IP電話モデムも吹飛ばされて屋内通信線が外れているため、教会の電話・ファクス・インターネットは不通となっています。」

牧師館の被害のあった箇所は、業者の方が入って応急の処置をしてくださいました。

また、翌日1月20日には、新潟地区より6名と群馬地区より2名のボランティアがかけつけてくださり、私も含めて9名と成田牧師やご近所の方が加わって雪かきをしました。

なお、降雪量が多く作業は一日では終わらないほどでしたし、屋根の上にも多くの雪が残っています。教会は一般の住宅と比べて屋根面積が広いので、屋根の積雪が建物全体や近隣に及ぼす影響が心配されます。

このため、屋根の除雪を業者に依頼したいところですが、ざっと40万程度かかるとのこと。この除雪費用を教団や教区で支援できないでしょうか。建物の被害は、会堂共済で対応できるとのことです。（文責：飯塚拓也）

